

科目名	デザイン演習1								年度	2025
英語科目名									学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科	1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	長田美穂			教員の実務経験		有	実務経験の職種		学術博士	
【科目の目的】										
この授業は、演習台紙を使用し、実際に知識から、作品に生かすことによって身に付けていく授業。 色相による、作品への・効果・色彩情報・色彩設定に不可欠な色彩の基礎知識を体験的に学習。 色彩検定、カラーコーディネート検定への応用も行い、検定へもつながる授業となる。										
【科目の概要】										
色の3属性（色相・明度・彩度）を使ったトーンを理解し、自分のイメージが表現でき、他者にも伝わる様表現する。色もたらす意味、効果について学習し、色彩計画に不可欠な色彩の基礎を、実習課題を通して学習する。 また、色彩検定、カラーコーディネート検定にも対応できる基礎を学ぶ。										
【到達目標】										
多角的な視点から、色彩の知識を学び、興味を持って色を効果的に活用でき、応用するための方法を習得することを目的とする。										
前期：色彩の基礎を学ぶ。 後期：前期授業内容に基づき、色彩の知識をもとに、それを応用、作品の生かし方を体得することにより、色彩をイメージ通りに使うことができるようにする。										
【授業の注意点】										
この授業では、テーマに合わせて計画な作業を行う事が重視される。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	PCCS色相環を理解し活用 出来ている				PCCS色相環を理解している				PCCS色相環の 理解が足りない	
到達目標 B	配色カードを理解し活用 出来ている				配色カードを理解している				配色カードの 理解が足りない	
到達目標 C	トーンについて 理解している				トーンについて 理解している				トーンの 理解が足りない	
到達目標 D	色相・明度・彩度 を理解し活用 出来ている				色相・明度・彩度 を理解している				色相・明度・彩度 の 理解が足りない	
到達目標 E	色名について 理解し活用できている				色名を 理解している				色名について の 理解が足りない	
【教科書】										
筆記用具、ノート、PC										
【参考資料】										
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【成績の評価方法・評価基準】										
作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デザイン演習1				年度	2025
英語表記						学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション			色のテスト	カラーコミュニケーション	3	
					基本36色の持つ意味		
2	色相環			トーン別色相環作成	PCCS色相環	3	
					補色		
					アニメの補色		
3	色の分類			トーン別色相環作成	色相・明度・彩度	3	
4	トーン			ドミナントカラー・トーンオン・トーンの理解	PCCSトーンのイメージ	3	
5	色名			基本色名、系統色名、固有色名、慣用色名	基本色名、系統色名、固有色名、慣用色名	3	
					JIS系統色名の色相関係		
					JIS系統色名の明 彩度関係		
6	混色			基本色名、系統色名、固有色名、慣用色名	光と色について	3	
					可視光線について		
					三原色		
7	キャラクターを色で分類			配色からキャラクターの分類	配色からキャラクターの分類	3	
8	配色テクニック 1			ピコロール・トリコロール・トータル	暖色・寒色	3	
9	配色テクニック 2			ダイアードからヘクサード	高彩度の組み合わせ	3	
					中彩度の組み合わせ		
					低彩度の組み合わせ		
10	配色テクニック 3			同一色相配色から補色色相配色	同一色相配色	3	
					隣接色相配色		
					類似色相配色・中差色相配色		
11	配色テクニック 4			ナチュラル・コンプレックス	ナチュラル配色	3	
					コンプレックス配色		
12	配色テクニック 5			アクセントカラー・セパレーションカラー	セパレーション、アクセントを使用し	3	
					引き締め、やわらげ		
13	定期試験（1回～12回の内容）					1	
14	配色テクニック 6			国旗など、世の中の色の意味を学ぶ	赤・橙・黄・緑・青・紫・白・黒	3	
15	流行色とアニメ			色と心理の関わり	色相心理	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等